



平成30年度『腹の底から笑いあつた家族エピソード』大笑

【優秀賞】

ぼくのかんちがい

府中学園二年

落岩 慶々

ぼくのいえに、おじいちゃんとおばあちゃんがとまりにきました。夕しよくの時間になって、つくえにいるんまりようりがならんでいました。ぼくのの前には、コーンスープがありました。ぼくは、コーンスープがすきななので、一番さいしょにたべました。すると、すぐくすっぱくて、へんなかおになりました。そのかおを見たおばあちゃんと言いました。「なに、たべよるん？それはすみそよ。サラダにつけてたべるんよね。」

かぞくのみんながそれを聞いて、大わらいしました。

たしかに、ぼくがスープを入れる皿じゃなかったです。

ぼくは、このかんちがいで自分もおかしくなつて、

わらつてしまいました。

平成30年度『少しのがまん』川柳大賞

【優秀賞】

テレビ見たい

でもぼくだけは

ねる時間

国府小学校五年

井上 悠大

(自作の解説)

テレビを見たいし、家族みんな起きてテレビを見ているのに、ぼくだけねる時間が早く、テレビが見られないことをがまんしています。

(家族の一言)

お兄ちゃんが中学生になり、寝る時間が少し遅くなつたため、いつも一番先に寝ています。まだ寝たくない!!と言つていても、布団に入るとあつという間に夢の中です。

府中市RCCラジオ番組「府中に夢中!」で、小・中学校・義務教育学校生の作文の朗読を放送中!

放送日 毎週月曜日16:30~16:45 (そのうちの5分間)

府中学園

第5回

みんなで進めル
「コミュニティ・スクール」
(略してCS)

地域と共にある学校づくり・学校を核とした地域づくりを目指して

府中学園では、「いきいき地域 大好き! 府中学園」を合い言葉に、学校づくり・地域づくりを進めています。その活動の大きな柱が「備後国府まつり」灯籠まつりin府中学園です。灯籠のメッセージ交流やブース活動を通して、地域・保護者・企業・大学・高校などとつながる場、そして世代を越えて触れ合える場を目指しています。児童生徒が企画したブースでは、子どもたちが地域の方々をおもてなしし、地域・企業ブースでは、勾玉づくりや警察の仕事体験などを通して、交流を深めました。これからも、地域の方々と共に手を携えて取り組んでいきます。



ふうちゃん

府中学園コミュニティ・スクールイメージキャラクター